



地球温暖化

S T O P ! G L O B A L W A R M I N G



私たちの生活は、大変便利で豊かになりました。
その反面、資源やエネルギーを大量に使って生産・消費することで、
自然界のバランスが崩れ、地球温暖化を引き起こしてしまいました。
そこでまさに今、私たちは自分たちのライフスタイルを見直すことが
求められています。
今回は、地球温暖化のもたらす弊害とは何か、
その対策として何をすべきかについて、
市役所の取り組みとともに、皆さんにお伝えします。

地球温暖化の概要

地球温暖化とは...

人間活動の拡大で、二酸化炭素・メタン・フロン類など、温室効果ガスの大気中濃度が増加し、地球の温度が上昇することをいいます。

地球温暖化の仕組み...

本来地球は、温室効果ガスの働きで、生物に適した温度（約十五度）に保たれていました。

しかし、化石燃料を使用し、快適な生活を求めて「大量生産・大量消費・大量廃棄」を

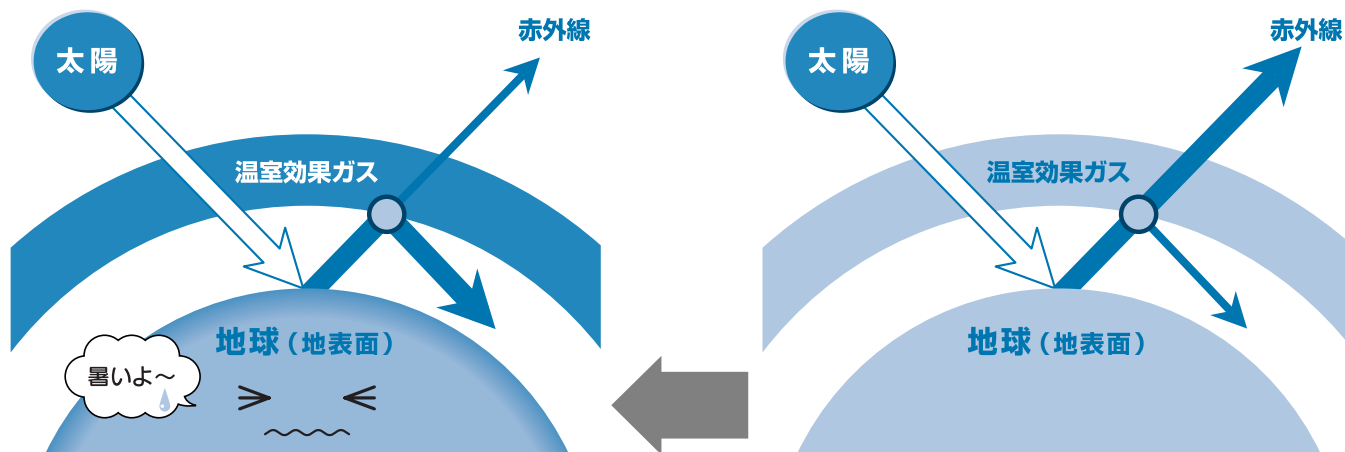
地球温暖化の影響...

繰り返してきたために、自然界とのバランスが崩れ、温室効果ガスの濃度が急激に増加しています。
結果、徐々に熱が地表にたまり、地球の温度が上昇しています。

このまま温室効果ガスが増え続けると、二一〇〇年には地球の平均気温が約二度（最高で六度）も高くなり、その後も気温の上昇は続くことが予測されています。

氷河期でさえも、日本付近の緯度では現在よりも三度～六度しか違わなかったことを考えると大変な変化です。

この変化に伴うさまざまな影響で、人間の生息そのものが危ぶまれています。



地球温暖化が進行すると

生態系への影響や砂漠化の進行

豪雨や干ばつなど異常気象の増加

海面水位上昇による土地の喪失

農業生産や水資源への影響

マラリアなど熱帯性感染症の増加

～温室効果ガス削減のために～ 市役所も取り組んでいます

深刻化する地球環境問題に対応するため、わが国では京都議定書に基づき、2008年から2012年の間に、温室効果ガスの総排出量を、1990年レベルから6%削減する目標が定められました。

これを受けて、平成11年には「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体の事務や事業に関しても、温室効果ガスを排出抑制するために計画（実行計画）の策定が義務付けられました。

土岐市では、平成13年度に計画を策定し、14年度から推進しています。

電気使用



■ 不要な照明やOA機器は消し、昼休みは必要な個所以外、すべて電源をOFFにしています。

■ 冷房は二十八度、暖房は二十度に設定しています。



■ 電気ポットは廃止し、魔法瓶を使用しています。

■ 新たに購入する電気製品は、省エネルギー型の商品を優先的に選択しています。

■ 太陽光発電・バイオガス発電など、新エネルギーを利用したシステムの導入を検討し

ています。

■ 夏期は、サマーエコスタイルを実施しています。



燃料使用



■ ガス給湯器は、目的に合わせ低温で使用しています。

■ 冷房は二十八度、暖房は二十度、に設定しています。

■ ボイラーなどの燃焼設備は、定期的な点検を行い、燃焼効率などの性能維持に努めています。

■ 燃焼設備を更新する場合は、エネルギー効率が高い省エネルギー型の設備を選択してい

ます。

■ 蓄熱式空調システムなどの導入を検討しています。

■ 廃熱など、未利用エネルギーの利用を検討しています。



公用車使用

■ 近距離の移動は、徒歩や自転車を利用しています。



■ 急発進・急加速・空ぶかしはしていません。

■ 無駄なアイドリングはしていません。

■ 公用車の削減を図っています。

■ 集中管理による公用車の効

率的な運用を図っています。
 ■燃費効率が高く、環境負荷の少ない自動車へ切り替えを図っています。

廃棄物の焼却



■ごみの減量やリサイクルに関して、さらなる意識啓発を図っています。

■容器包装リサイクル法に関わるプラスチック類の資源化を検討しています。

紙使用



■コピー用紙は、100%再生紙を購入・使用しています。
 ■両面コピーや両面印刷を徹底しています。
 ■ミスコピー用紙は、裏面を利用しています。
 ■会議資料などの簡素化に努めています。

■紙ごみの分別を徹底して行っています。



水使用



■蛇口は、こまめに止めています。

■自動水洗設備など、節水型機器の導入を検討しています。

グリーン購入



■エコマーク・グリーンマークなどが表示された環境に配慮した商品を購入しています。

■事務用品など、消耗品の購入は、必要最低限の量に努めています。

■緑化の推進



■庁舎や市施設などの緑化に努めています。



ごみの廃棄



■使い捨て容器やペットボトルの使用は控えています。

■個人用のごみ箱は廃止し、共通のごみ箱の数も削減しています。

■細分化した分別ボックスを設置し、ごみの分別を徹底して行っています。



公共工事での環境配慮



■基本構想や基本計画・基本設計などから、環境への負荷の少ない事業推進を図っています。

■アスファルト塊・コンクリート塊など、建築資材の再利用の徹底化を図っています。

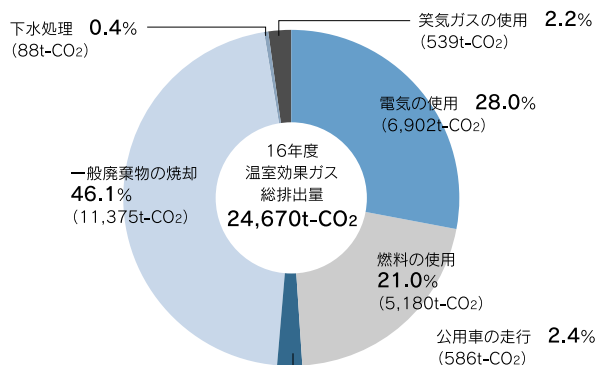
土岐市の事務・事業に伴う排出量

平成16年度温室効果ガス排出量は、24,670t-CO₂（二酸化炭素換算値）でした。平成12年度比で3.3%増加、平成15年度比で2.9%減少です。

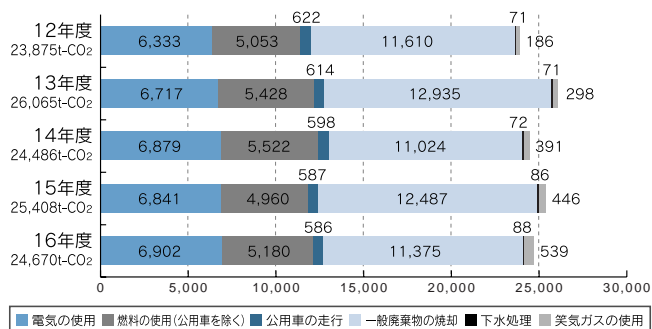
平成16年度数値目標である23,025t-CO₂、を達成できませんでしたが、平成15年度排出量25,408t-CO₂と比較して、738t 減少しています。

引き続き、目標達成に向けて努力していきます。

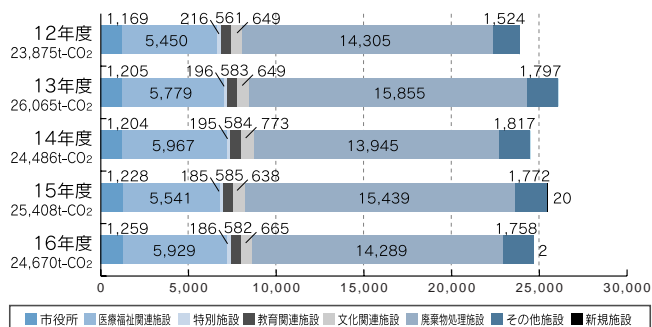
平成16年度温室効果ガス総排出量



活動別年間排出量の変化



施設別年間排出量の変化



市民が感じる地球温暖化

機械が凍りついて、豆腐が作れなかったこともあったな



鶴里町 豆腐店経営
稲垣 長幸さん(68歳)

朝早くから水を使ってお仕事ですが、地球温暖化を感じたことはありませんか

昭和五十八年（一九八三年）に、豆腐店を創業しました。開業当時は、気温がマイナス十七、十八度になることもしばしばあり、高圧送水ポンプが凍りついて使えなくなりました。豆腐の製造ができなくなりました。また、朝四時ごろ工場に入ると、あまりにも気温が低くて、金属のドアノブに手のひらが吸い付く感じが何度も味わいました。汲み置きの水槽なんかも、たびたび表面が氷結しましたが、最近ではそうしたことがなくなりましたよに思います。








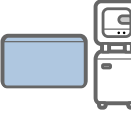


子どものころを思い出すと、雪なんかは三日と空けずに降っていましたし、積雪も二十、四十cmが常でした。そのため、朝通学路を確保するために、父兄が毎日のように雪かきをしていたことを覚えています。

また、小学校では、PTAが交代で水まきをして作った天然スケートリンク場がありましたし、近在の池でも氷が張り、みんなでスケートをしたものです。こうした状況が現在見られないことからすると、地球温暖化が、刻一刻と私たちの生活を脅かしている感じがします。

今日からでも実行できる 家庭での取り組み

身の回りで、できることはたくさんあります。まずは、できることから始めませんか。

暮らしのちょっとした節約や工夫の積み重ねで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすことができます。小さな積み重ねが、大きな効果につながります。

	取組例	年間CO ₂ 削減効果	年間節約効果	備考
	ジャーの保温をやめる	31kg	2,000円	ポットやジャーの保温は、時間が長いため多くの電力を消費します。ご飯は、電子レンジで温め直すほうが、電力消費が少なくなります。
	シャワーを1日1分、家族全員が減らす	65kg	4,000円	体を洗っている間、お湯を流したままにしないようにします。
	冷房の温度をこれまでより1度高く、暖房は1度低く設定する	31kg	2,000円	カーテンを利用して、太陽光の入射を調節したり、着る物を工夫して、冷暖房に頼らないようにします。冷暖房を使用することを、少し待ってみます。
	家族が同じ部屋でだらんし、冷暖房と照明の利用を2割減らす	240kg	11,000円	家族が別々の部屋で過ごすと、冷暖房や照明も余計に必要になります。
	テレビ番組を選び、1日1時間テレビの利用を減らす	13kg	1,000円	見たい番組だけを見るようにし、小まめにスイッチを切ります。
	買い物の際は袋を持ち歩き、包装の少ないものを選ぶようにする	58kg	—	トレーやラップは、家に帰ればすぐゴミになります。買い物袋を持ち歩いて、レジ袋を減らします。
	待機電力を90%削減する	87kg	6,000円	主電源を切ります。長時間使わないときは、コンセントを抜きます。買い替えのときは、待機電力の少ない製品を選びます。
	風呂の残り湯を洗濯に使い回す	17kg	5,000円	風呂の残り湯を、洗濯や掃除、庭の水やりに使います。残り湯を利用するのに、市販されているポンプを使うと簡単で便利です。
	週に2日は、往復8キロメートル以内の車の運転を控える	185kg	8,000円	通勤や買物の際に、バスや鉄道、自転車を利用します。歩いたり、自転車を使う方が健康にもよいです。
	毎日5分間のアイドリングストップを行う	39kg	2,000円	駐車や長時間停車するときは、エンジンを切ります。大気汚染物質の排出削減にもなります。